少額営繕工事　総括報告表　（記載例）

（当初請負金額が200万円を超え500万円未満の工事）

受注者　：　株式会社〇〇電設　　工事概要：　校内情報通信網設備
工事番号：　〇〇第〇〇号　　電源コンセント設備
工事名　：　〇〇小学校〇〇室無線LAN設備整備工事　　建設副産物等処理
工事場所：　長岡市〇〇町地内

		項目	具体的内容（事実が無い場合は無しと記入）
着手時書類	1.設計図書の照査結果（約款第19条第1項）	①　設計図書に一致しないことがある。	無し
		②　設計図書に誤びゅう又は脱漏がある。	無し
		③　設計図書の表示が明確でないことがある。	営繕設備工事簡易発注方式のため、実施設計後に協議
		④ 設計図書に示された自然的又は人為的な施工条件と実際の工事現場が一致しないことがある。	無し
		⑤　設計図書で明示されていない施工条件について予期できない特別な状態が生じている。	無し
	2.施工体制	別添、施工体系図、施工体制台帳、再下請通知書、作業員名簿のとおり	
	3.仮設計画	別添、仮設計画図のとおり（仮囲、足場、揚重機配置、工事動線、資材置場、駐車場、掲示板等）	
	4.施工管理計画	☐　技能士、電気保安技術者、解体工事施工技師等の要件あり　→　資格証明書の（写）添付	
		☑　使用する材料及び機器の計画　→　品質規格等が記載されたメーカーカタログ等（写）添付	
		☐　標準仕様書以外の特殊な施工方法　→　施工方法に関する資料添付	
		☑　出来形・品質の管理に関する計画　→　自主検査用チェックリスト、試験計画書等を添付	
	5.建設副産物処理計画	☐　建設副産物（建設発生土、産業廃棄物）なし	
		☐　建設発生土あり　→　処理方法を工事打合簿で報告	
		☑　産業廃棄物あり　→　処理方法を工事打合簿で報告（収集運搬・処分契約書（写）添付）	
		☐　資源有効利用促進法または建設リサイクル法に該当する。　→　法令に基づく書類添付	
		☐　アスベスト含有建材の処理　（☐ レベル1、☐ レベル2、☐ レベル3）　→　処理計画添付	
		☐　PCB　☐ 冷媒フロン　☐ 蛍光管　☐ 廃油　☐ ダイオキシン　☐ その他　→　処理計画添付	
	6.労働安全管理計画	非常時連絡先　第1順位　（氏名）〇〇〇〇　（電話）〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
		非常時連絡先　第2順位　（氏名）××××　（電話）×××-××××-××××	
		☑　労働災害防止協議会等を設置し、月1回以上活動する。（現場閉所月を除く）	
		☐　（労働者数10人以上の場合）店社パトロールを月１回以上実施する。（同上）	
		☑　本工事に即した安全教育・訓練等を月4時間以上実施する。（同上）	
		☑　作業日毎に、安全巡視、TBM、KY等を実施する。（同上）	
		☑　現場特性を反映した新規入場者教育を実施する。（同上）	
		☐　作業主任者を選任・配置すべき作業がある。　→　作業主任者証明書の写し添付	
		☐　熱中症防止対策　→	
		☑　高所作業対策　→　高所作業時は、墜落防止用器具（フルハーネス型）を使用する。	
		☐　その他安全対策　→	
	7.災害防止計画	☐　強風対策　→	
		☐　火災対策　→	
		☐　交通事故対策　→	
		☐　近隣住民対策　→	
		☑　施設利用者対策　→　学校管理者との連絡調整により、児童、職員の安全に注意する。	

※　本工事において、該当する項目に☑を入れて、空欄に必要事項を記入すること。

※　労働災害防止協議会は、下請け業者のいる元請業者が設置すること。（労働安全衛生法第30条）